

## 小泉政権が進める『構造』改革の正体とは・・・

### 公共サービスがどんどん削られていく

小泉政権は、「官から民へ」、「小さな政府」を声高に叫び、公共サービスを後退させています。その理由として、国・地方合わせて1000兆円の債務をあげています。しかしこの債務を作ってきたのは、ムダな公共事業の温存や大企業への優遇税制などの自民党政治です。今年の通常国会には、公務サービスをさらに民営化する「市場化テスト」法(略称)が上程されようとしています。

### 『官から民へ』は大企業のモウケ優先

「規制緩和・民間開放で生まれる50兆円のビジネスチャンスをつかめ」、「100年に1度のビックビジネスチャンス」(日経BP)と報道しているように、日米の大企業の儲け口にしようとしています。国民の安心・安全ではなく、営利企業の利益のために『官から民へ』『小さな政府』の流れです。

### 公共サービスの拡充で安心・安全な日本を

営利企業は、モウケが出なければさっさと投げ捨てます。うま味が無いと判るや翌年には撤退した例もあり、住民への公務・公共サービスを保障する行政にとって許せないことです。憲法25条は、「国民の生存権と国の社会政策的義務」を謳っています。国・自治体の公務・公共サービスを拡充することは、憲法を守り発展させ「もうひとつの日本」実現することです。

耐震強度偽装事件が明らかにしたものは？

構造計算書を偽造し、建設されたマンションやホテルが全国で70棟に達しようとし、社会問題になっています。長期ローンを抱えた居住者は、恐怖と悲劇に置かれています。これまで自治体が行ってきた建築確認・完了検査を、民間機関も実施できるよう「規制緩和」したことに真の責任があります。国の責任を放棄する「官から民へ」は、重大なツケを払う結果を明らかにしました。

区分	棟数	延床面積(㎡)
マンション	10	0.31
マンション	10	0.30
マンション	10	0.30
マンション	10	0.41
マンション	10	0.28
マンション	10	0.44
マンション	10	0.26
マンション	10	(1.45)

# 責務

# それは国民の安心・安全を守る

国民犠牲負担強いる『小さな政府』はごめんです

